



つらい入れ歯、あきらめていませんか？

その日のうちに取りはずしの要らない歯が入る
インプラント治療法

オール・オン・フォー

All-on-4のご案内

忘れていませんか？ 食べる喜び、笑う喜び

硬い物が噛めない。

食べ物がおいしく感じられない。

きちんと発音ができない。口臭が気になる。

人と話をするのが億劫になった——。

合わない入れ歯を使用していると、

食事を楽しめなくなるだけでなく、

“クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)”に

大きな影響を及ぼします。

デンタルインプラントは、

天然の歯とほとんど変わらない機能と

外観を回復できる治療法。

自分の歯が再生したような快適な暮らしを実現します。

最先端のインプラント治療法^{オール・オン・フォー}All-on-4で、

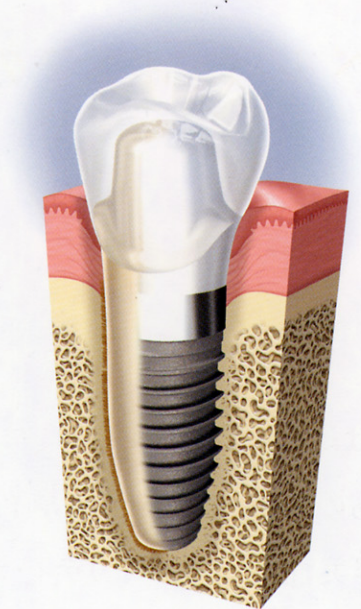
自然な笑顔を取り戻しませんか？

インプラント治療とは？

歯は、目に見える部分の歯冠と、それを支えている歯根から成り立っています。歯を失うということは、歯冠だけでなく歯根も失うということです。

インプラント治療では、失われた歯根の代わりにチタン製のインプラント(人工歯根)をあごの骨に埋め込み、そこに人工の歯冠をしっかりと固定させます。チタンは生体組織内において異物とみなされず、違和感なく骨と結合するという特性を利用した治療法です。インプラント治療は、歯を1本失った場合から全部失った場合まで、あらゆるケースに対応できます。

あごの骨にしっかりと固定するインプラント治療は、ずれたりぐらついたりすることがなく、違和感、異物感に悩まされることもありません。天然の歯と変わらない感覚で噛める、自然で美しい歯を手に入れることができるのです。



ノーベルバイオケアのインプラント・システム

1952年、スウェーデン人のペル・イングヴァール・ブローネマルク博士は、チタンが骨組織と親和し結合することを発見しました。その後、長期にわたる研究を経て、1965年より博士は歯科分野でのインプラント治療を開始。以来、何百万人も患者さんがデンタルインプラントによって、歯の機能、審美性、そしてクオリティ・オブ・ライフの向上を享受しています。

現在ノーベルバイオケアのインプラントは、埋め込んだ時には独自の形態によって骨に強固に固定され、さらにタイユナイトと呼ばれる表面加工が骨の形成を促進するため、短期間に骨と結合します。骨の状態によっては、これまで常識とされていた長い治癒期間を待つことなく、埋め込んだその日に力かけることも可能です。

ここでご紹介する^{オール・オン・フォー}All-on-4も、ノーベルバイオケアが行ってきた数々の研究結果に基づき、患者様の負担を減らすために提供する信頼性の高いインプラント治療法のひとつです。

本数の少ない最先端のインプラント治療法

オール・オン・フォー

All-on-4

オール・オン・フォー

All-on-4は、総入れ歯をお使いの方や

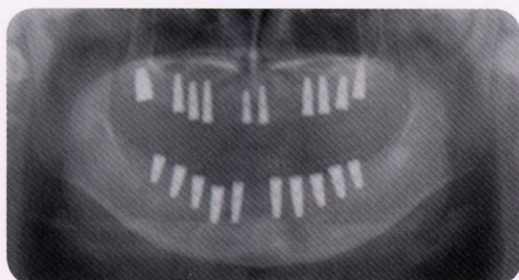
多くの歯をなくした方のための最先端のインプラント治療法です。

従来、すべての歯を失った方にインプラント治療を行う場合、

骨の移植をしたり、8～14本のインプラントを埋め込むのが一般的でした。

そのため手術時間が長くなり、術後の腫れも大きく、

費用がかさむという不安要素がありました。



上下のあごに10本ずつインプラントを
埋め込んだレントゲン像

オール・オン・フォー

All-on-4は、奥のインプラントを骨のある部分へ斜めに埋め込み、

力を広く均等に配分することにより、

最少4本*のインプラントですべての人工の歯を支えることに成功。

上記のような不安要素を解消することができました。

手術や費用の負担を必要最低限に抑えた新しいインプラント治療法

オール・オン・フォー

——それがAll-on-4です。



上下のあごに4本ずつインプラントを
埋め込んだレントゲン像

※顎の骨の状態によってはインプラントの本数が増えることもありますので、主治医によくご相談ください。

オール・オン・フォー

All-on-4 の治療例

BEFORE

AFTER



術前



術後

オール・オン・フォー

総入れ歯とインプラント (All-on-4) の比較

総入れ歯によるトラブル

- 入れ歯と歯ぐきの間に食べ物がはさまって痛む
- 噛む力を十分にかげられず、硬い物を食べることができない
- 歯ぐきが覆われていて、食べ物がおいしく感じられない
- 入れ歯が動いて発音しにくく、人と話をするのが億劫になる
- 食後に入れ歯をはずして洗ったりするのが嫌で、外出や旅行ができない
- 口臭がひどいのではないかと不安で人に会えない
- あごがやせてしまい、年老いて見える

All-on-4 ならこんなに快適

- 食べ物がはさまって痛むことがない
- あごの骨にしっかりと固定されているため、硬い物も食べることができきちんと栄養が取れるようになる
- 天然の歯と変わらない感覚で物を噛んだり、味わうことができる
- 固定されているため安心しておしゃべりができる
- 固定式の歯になるため、取りはずす必要がなく、外出や旅行が楽しめる
- 人と会うことに対して自信が持てるようになる
- あごの骨の変形も少なく、若々しい顔貌を維持できる

たった1日で取りはずしの要らない歯に

オール・オン・フォー

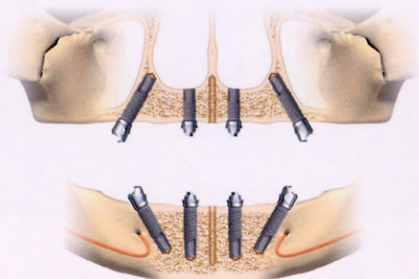
All-on-4は、埋め込むインプラントの数が最少4本。*

骨の移植なども必要ありません。

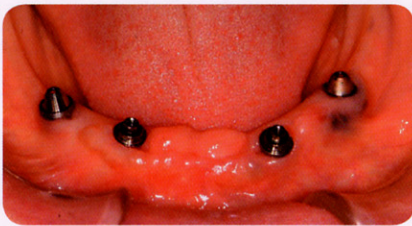
抜歯からインプラントの埋め込み、

仮歯の装着まで、1日で行うことが可能になりました。

All-on-4による
インプラントの配置



インプラントを斜めに
埋め込むことにより、
噛む力をインプラント上に
広く均等に配分できます



4本のインプラントを埋め込んだお口の中



最終ブリッジを取り付けた状態

つまり、今まで使用していた歯や入れ歯が手術当日まで使え、

その夜には新しいインプラントで支えられた仮歯で食事をとることができるのです。

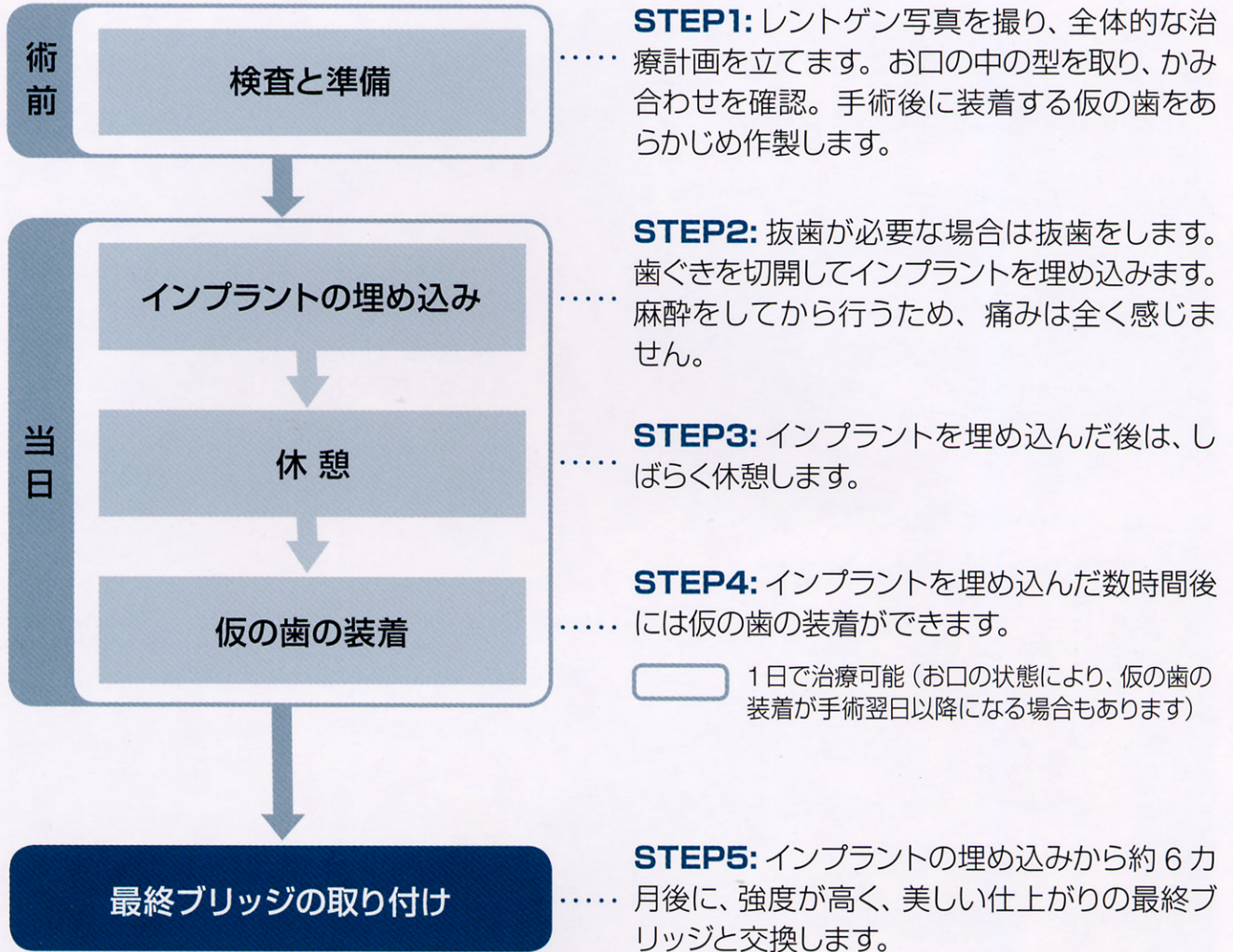
オール・オン・フォー

All-on-4は、短時間で固定式の仮歯が入る画期的な治療法。

たった1日でお口元が劇的に変わり、さまざまな入れ歯の悩みから解放されます。

※顎の骨の状態によってはインプラントの本数が増えることもありますので、主治医によくご相談ください。

All-on-4 による治療の流れ



最終ブリッジを取り付けた後はご自分の歯のように何でも噛めるようになります。



手術当日に入れる
仮の歯



強度が高く、美しい仕上がりの
最終ブリッジ

～よくあるご質問にお答えします～

Q. 歯がまだ数本残っていますが、All-on-4は可能でしょうか。

A. 可能です。通常、歯が残っている方や義歯を入れている方は手術当日までそのままご使用いただき、手術当日に抜歯を行います。同日中にインプラントを埋め込み、その数時間後(症状によっては次の日)には新しい歯(仮の歯)が入ります。

Q. All-on-4をしたいのですが、どのくらい持つか心配です。

A. All-on-4の医学文献によると、インプラントの1年後の残存率は上顎で97.6%、下顎で98.2%、ブリッジとしては上下とも100%という結果が出ています。この成功率は大変高いものと言えます。

Q. 大掛かりな手術のようなので、痛くないか心配です。

A. 手術中は麻酔をしっかりとしますので、痛みは感じません。また、お口の中は体のほかの部分と比べると、手術の範囲が狭いですし、治りやすい部分でもあります。実際に手術された患者さんからは、思ったより楽だったという感想がほとんどです。

Q. できるだけ痛くなく、腫れないようにAll-on-4をしてもらう方法がありますか？

A. ノーベルガイドシステムというCTを基にコンピューター上で精密な計画を立てて手術を行う方

法があります。この方法ですと、歯ぐきに3ミリ程度の孔を4つ開けるだけで手術が終わります。型を取る必要もないので、手術から仮の歯が入るまで、早ければ1時間程度で終わります。また、手術後も出血しない、腫れない、痛くないというのが特長です。

Q. All-on-4をしたいけれど、体力に自信がありません。年齢のことも気になります。

A. 上記のノーベルガイドシステムは、体力のない方や高齢の方にも適しています。しかし、あご骨の状態によっては使用できない場合もありますので、歯科医師にご相談ください。

Q. All-on-4後の歯磨きは難しいでしょうか？

A. All-on-4で歯磨きが必要なのは4本のインプラントだけなので、本数的に少なく楽だと言えるでしょう。歯ブラシだけでなく、水流タイプの清掃器具を併用するとさらにすっきりとするようです。

Q. All-on-4後の食事で気をつけることは？

A. 術後しばらくは、できるだけインプラントに無理がかからないように、硬いものは避けていただいたほうがよいようです。

制作にご協力いただいた先生：中村社綱先生、木村洋子先生